



水土里情報活用ニュース・レター

第112号(平成29年3月)



水土里情報を活用した農業振興地域の管理について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 市町村、水土里ネット千葉

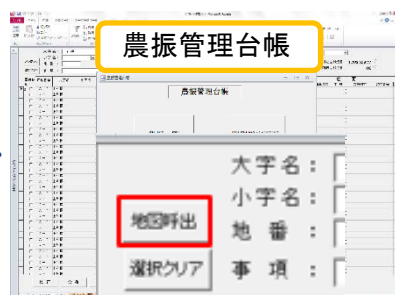
取組概要

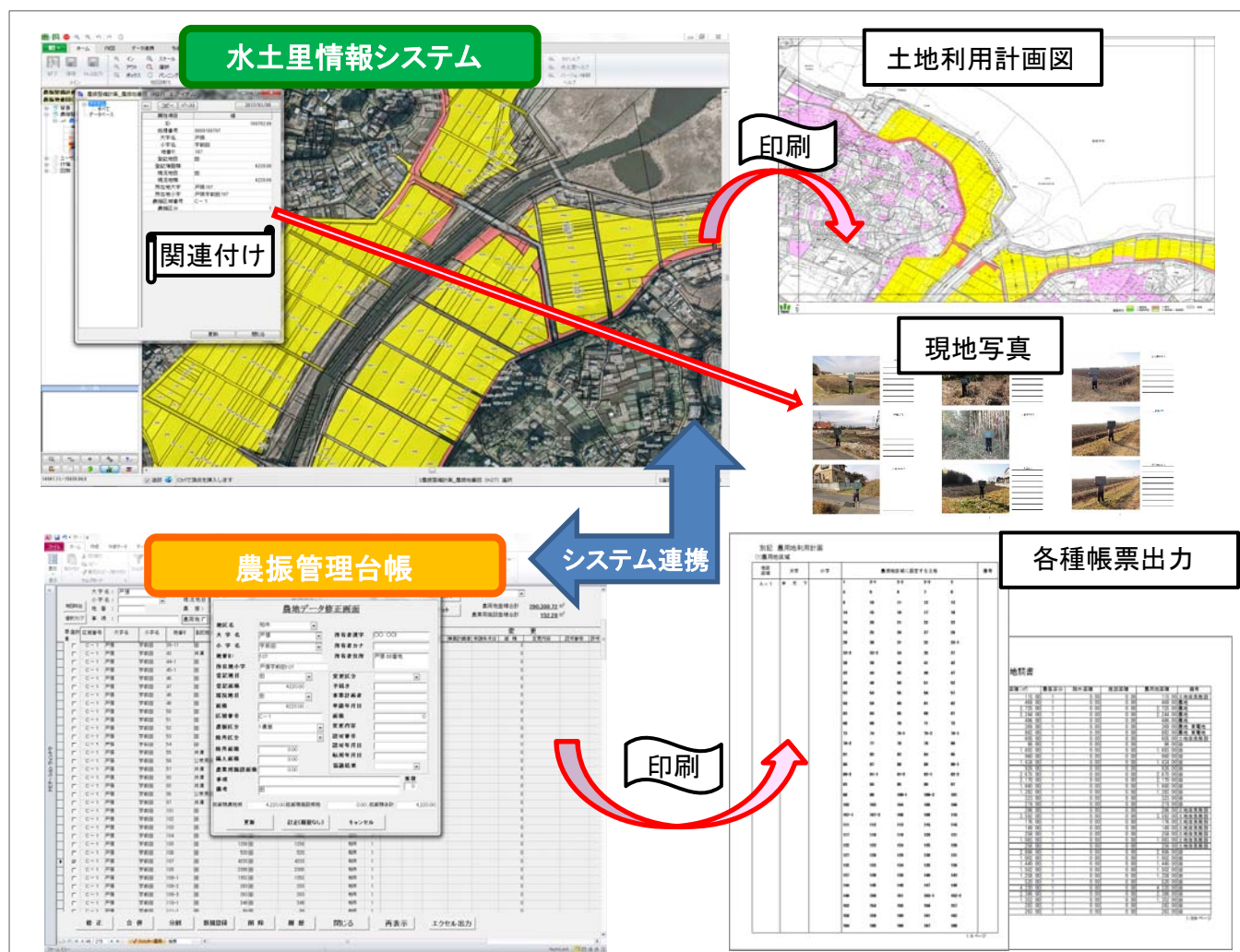
内容: 水土里情報利活用促進事業で整備した農地筆データを活用し、既存の農振整備計画を基に農振区分情報(農用地、農業施設用地、農振白地等)を持たせ、土地利用計画図を作成。また、農地筆と農振整備計画の突合により農振管理台帳を作成。農振管理台帳と水土里情報システムの連携を行い、農振農用地や除外情報等、必要な情報を地図及び台帳上で管理が可能となるため、農振管理事務の軽減につながった。

経緯: ① 毎年の除外・編入の申請書類等の作成に時間を費やしていた。
② 農振整備計画策定時は“字”、“地目”で農用地を探索していたため、位置が不明な箇所等もあり、全体見直し等の作業が煩雑になっていた。
③ 地図と台帳が別々になっているため、窓口での対応に時間がかかっていた。

期待される効果

- ① 各年の農振除外申請事務の軽減が図れる。
- ② 地図と台帳を連携することで、リアルタイムなデータとなるため、次回の全体見直しの際の経費軽減が可能となる。
- ③ 耕作放棄地や農振除外等の情報をデータベース化し、地図情報とともに管理することで以降の農振整備計画の基礎情報等にも活用が図れる。
- ④ 窓口対応が迅速に行える。
- ⑤ 水土里情報システム上に現地の写真や書類等を関連づけすることで、情報の共有が図られ、業務の引継ぎもスムーズに行える。





今後の活用予定

水土里情報システムと各種台帳を連携させることにより、利活用を推進する。

GISシステムのバージョン情報

GISアプリ : 水土里Maps 7.1 Ver.1.5x (32bit/64bit)

GISエンジン : SIS 7.1 ActiveX Manager またはActiveX Modeller (32bit/64bit)

DBエンジン : Excel または Access 2010・2013・2016 (32bit/64bit)

運用形態 : スタンドアロン

■お問い合わせ先

千葉県土地改良事業団体連合会 管理指導部 会員支援課 043-241-7745

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2201(直通)